

2011年2月25日  
東日本旅客鉄道株式会社

～環境にやさしい駅をめざして～  
**東京駅東海道線ホーム 太陽光発電システムの使用開始について**

JR東日本グループは「グループ経営ビジョン2020 - 挑む -」において、地球温暖化防止の取り組みを行っています。この取り組みの一環として、2010年1月より工事着手しておりました東京駅東海道線ホーム(9・10番線)の太陽光発電システムの設置がこのたび完了し、2011年2月25日から使用開始することとなりました。

当社の駅における太陽光発電システムは、既に東京駅新幹線ホーム、高崎駅新幹線ホームに導入しておりますが、今回導入したものは、当社最大規模の発電電力453kW、年間の発電量約340MWh、CO<sub>2</sub>削減効果約101tを見込んでいます。これは東京駅全体で使用する電力量の約0.3%に相当します。

発電した電気は東京駅の照明、空調機などの電力として活用します。当社は今後も省エネルギー化に取り組み、更なるCO<sub>2</sub>削減を行っていきます。

## 1. 太陽光発電システムの概要

### (1) 設置箇所及び出力

設置場所	設置年月	パネル面積	出力	設置種類
東海道線ホーム(9・10番線)	2011年2月	約3,846 m <sup>2</sup>	453kW	屋根材一体 (光透過性)

【参考：既に導入している太陽光発電システム】

設置場所	設置年月	パネル面積	出力	設置種類
東京駅新幹線ホーム(22・23番線)	1993年3月	約433 m <sup>2</sup>	30kW	屋根置き型
高崎駅 新幹線下りホーム	2001年3月	約750 m <sup>2</sup>	100kW	屋根材一体
高崎駅 新幹線上りホーム	2004年2月	約800 m <sup>2</sup>	100kW	屋根材一体

### (2) 年間発電量及びCO<sub>2</sub>削減効果(予測)

項目	パネル導入効果	東京駅全体(寄与率)
年間発電量	約340MWh/年	約98,000MWh/年(約0.3%)
CO <sub>2</sub> 削減効果	約101t/年	約25,700t/年(約0.3%)

CO<sub>2</sub>削減効果は、杉の木に換算すると、約7,214本の植林に相当。

(3)稼働開始日

2011年2月25日(金)

**2.その他**

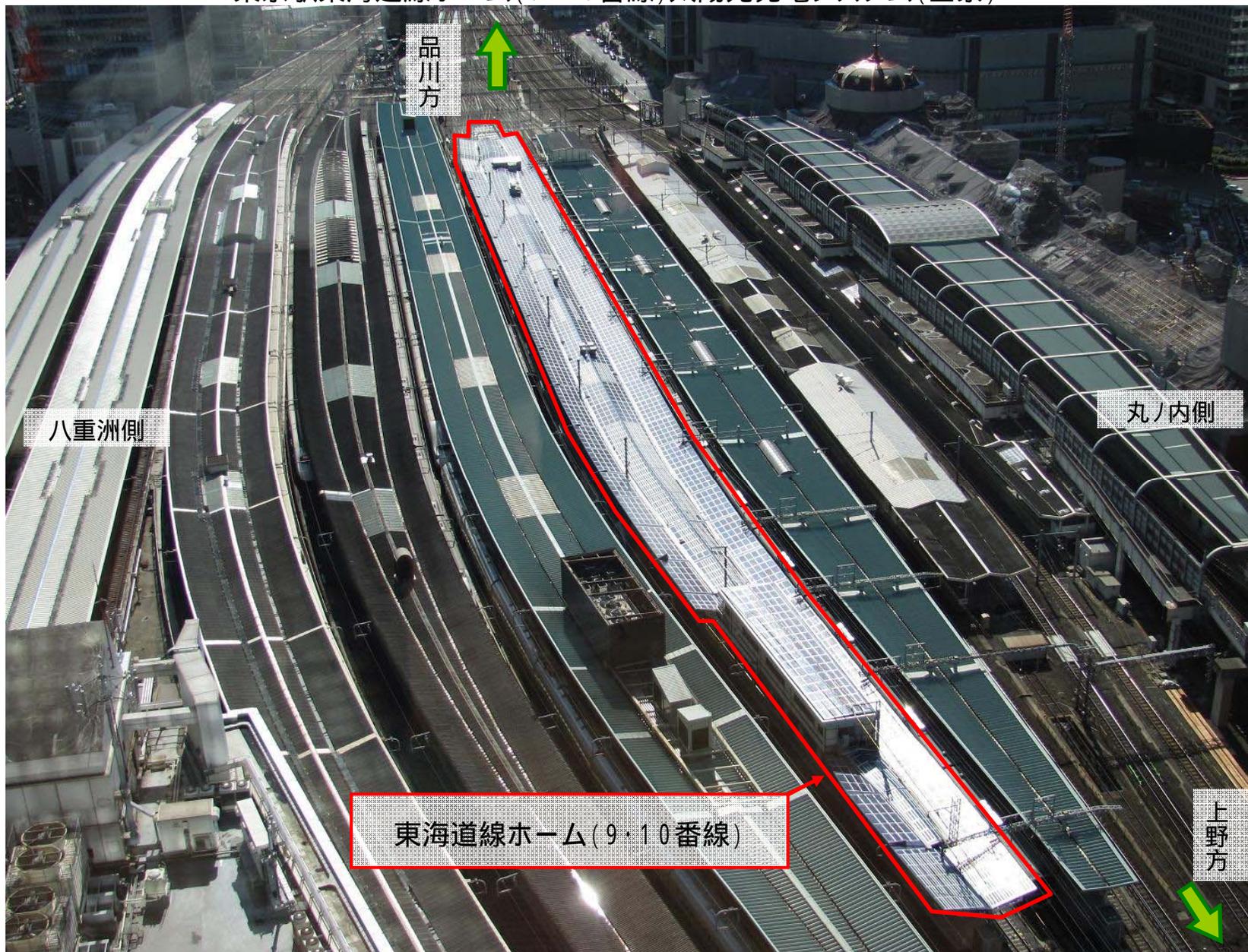
(1)この太陽光パネルの発電状況は、東京駅構内の4箇所に設置された発電量表示モニターでリアルタイムに確認することができます。

発電量表示モニターに表示されるのは、東京駅東海道線ホーム(9・10番線)の発電状況のみ。

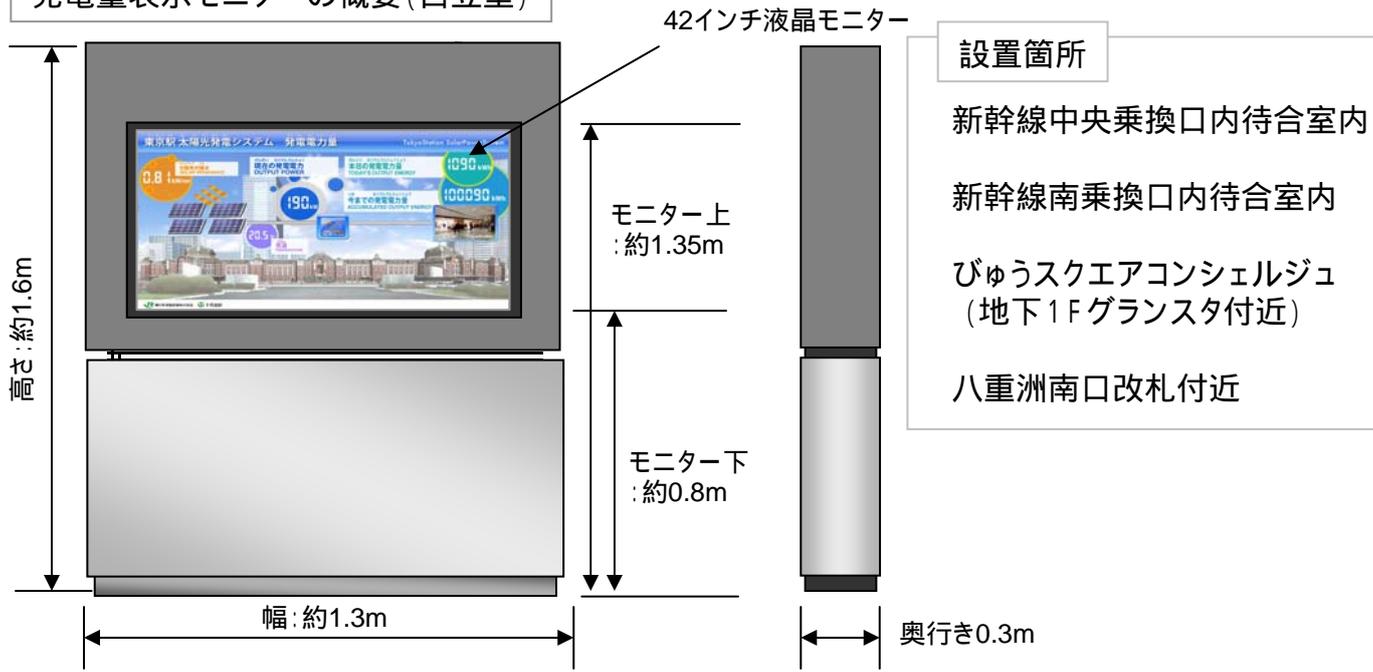
(2)同太陽光発電システムの導入は、千代田区との共同事業として実施いたしました。

(3)一般社団法人新エネルギー導入促進協議会より、「地域新エネルギー等導入促進対策費補助金」を受けています。

東京駅東海道線ホーム(9・10番線)太陽光発電システム(全景)



## 発電量表示モニターの概要(自立型)



## 発電量表示モニターの表示内容

